

夢に向かって挑戦する

白鳥在住

青木 菜々穂さん (29歳)

和の心を伝えるコンテストである、2020MISS NADES EIKO NIPPON (2020ミスなでしこ日本) に愛知県代表として出場した青木菜々穂さん。広報とうごう1月号の表紙写真の撮影にも協力していただきました。今回は、青木さんにコンテスト出場までのお話を伺いました。

夢を叶えるために

青木さんは日本一になることを夢に6歳から26歳まで柔道に励んでいました。全国大会にも出場し



ましたが、夢は叶いませんでした。その想いをバネにして、日本一になるという夢を別の舞台で叶えようと、ミスなでしこに応募しました。

ミスなでしこ日本(以下全国大会)に出場するには、書類審査と面接を経て、たくさんの応募者の中から各都道府県の代表(ファイナリスト)に選ばれる必要があります。青木さんは、全国で500人以上の応募者の中から愛知県代表に選ばれました。

「まさか自分がファイナリストに選ばれると思っていませんでした。ファイナリストに選ばれたと知ったときは、驚くと同時に、嬉しかったです」と笑顔を見せます。また、「全国大会に出場するからにはトップになりたい」と意欲を見せます。

感謝の気持ちを持って挑む

全国大会は、12月に京都で開催

催され、代表する都道府県をアピールするスピーチ、ウォーキング、水着、着物の審査が行われます。

青木さんは全国大会に向けて、ウォーキングの練習を重ねたり、ダイエットをしたりと準備を欠かしません。

「家族を始め、応援して下さる周りの方々の支えがあったこそ挑戦できる。感謝の気持ちを持って、大会に挑みたい」と話します。

周りを大事にできる女性になりたい

ファイナリストは、全国大会の前にビューティーキャンププログラムに参加し、食事のバランスなど「美」に関することを学びます。

「プログラムの講義で教えていただいた、『周りのことを大事にする気持ちを持つこと』に共感しました。自分のことだけでなく、

周りも大事にできる女性になりたいです」と微笑みます。

全国大会では、47都道府県中ベスト8の結果を残しました。

青木さんは大会に出場して、「初めての舞台で多くのことを経験し、学びました。出場したからとごころではなく、感謝の気持ちを持つてこの経験をいろいろな場面で還元していけたらと思っています。応援ありがとございました」と大会を振り返り、感謝を述べました。大会に出場し、輝きを増した青木さん。今までの経験を生かし、周りを輝かせていくことでしょう。



ビューティーキャンププログラム参加時の写真